

あ お も り

町村 自治

2020 **4** No.1226

令和2年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
自治功労者表彰名簿	4
道路除排雪費に対する 特別交付税の配分に関する要望	6
町づくりへの挑戦 五戸町	14
いまが旬!	16
随想 新郷村長 櫻井 雅洋 氏	18



春の訪れを告げる ～みずばしょう群生地～

しんごうむら
新郷村

道の駅しんごうから、国道454号線を十和田湖方面に2kmほど向かった先の菅場地区は、北東北でも有数の「みずばしょう」群生地。春には約3.55haの湿地帯に毎年約10万株が花をつけます。

みずばしょうは村の花としても指定されており、花びらのように見える純白の衣は、仏炎苞（ぶつえんほう）という葉が変形したもの。見頃は4月中旬から5月上旬までで、一周約900mの遊歩道を歩きながら雪どけ水のせせらぎに咲く清楚で力強い姿を楽しむことができます。

本会定期総会

地方創生の推進、地方交付税等の一般財源総額確保など決議

永年の功績を称えて全国・県表彰



定期総会には町村長はじめ44人が出席

本会は二月二十六日、青森市の青森国際ホテルで令和二年第一回定期総会を開催し、令和二年度の事業計画十六項目及び予算などを決定したほか、地方創生の推進はじめ十項目の決議を採択した。また、議事に先立ち、全国町村会表彰の伝達及び青森県町村会表彰として自治功労者の表彰を行った。



浜谷会長が町村を取り巻く環境について述べる

定期総会には、町村長をはじめ来賓及び被表彰者など四十四人が出席した。はじめに浜谷会長があいさつで、「本日表彰を受けられる皆様には、このたびの荣誉に対し心から敬意を表し、お喜びを申し上げる。少子高齢化や人口減少の進展の中で、各町村ともその打開に向けて力を尽くしているが、来年度も本会として、引き続きこれ

までの政務活動や健康管理活動、研修活動や、各町村が共通で抱える課題に対して、少しでも後押しができるよう取り組を進めて参りたい。青森県の町村数は、三十町村と全国でも六番目

表彰

自治功労者

の町村数となっているが、私共はこれを大きな『財産』としてとらえ、厳しい時代環境にあっても、三十町村が『連携』と『調和』をもってきめ細かい行政対応の推進や諸課題の解決に取り組んで参らなければならない。」と述べた。

総会では、全国町村会表彰として自治功労者の三浦前五戸町長、船橋平内町長、平田藤崎町長の表彰伝達を行ったほか、県町村会表彰として自治功労者の久慈蓬田村長のほか、一般職員百六十一名（代表・横浜町 田中幸彦氏）に表彰状と記念品を授与した。最後に、被表彰者を代表して船橋平内町長が謝辞を述べた。



三村知事が来賓祝辞を述べる

議を朗読し、満場一致で採択した。

○議案第一号

令和二年度青森県町村会事業計画案（概要）
 県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、町村

町村長並びに町村職員の研修表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の審査・検討、会報活動等をこれまで以上に効果的・効率的に実施していく。共済関係事業は、関係団体の財政の安定と町村職員等の福祉の向上に資するため、より一層の利用を促進し、もって町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していく。

○議案第二号

令和二年度青森県町村会会費案
 会費総額は、六百七十七万三千円とする。

○議案第三号

令和二年度青森県町村会一般会計予算案
 収入支出予算総額を、収入支出それぞれ二億六千七百三十二万二千元（対前年度比千六百十三万二千元

議事

令和二年度

予算を決定

浜谷会長が議長となつて議事に入り、令和二年度事業計画案及び予算案など議案四件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

また、金澤副会長が地方創生の更なる推進や地方交付税等一般財源総額の確保、新たな過疎法制定など十項目の決



決議文を読み上げる金澤副会長

百十三万二千元五・七%減）とする。

○議案第四号

令和二年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案
 經常収支計を、四千二百二十九千円とする。

決議（項目抜粋）

- 1 一億総活躍社会の実現に向け、地方創生の更なる推進を図ること
- 1 「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 過疎対策を推進するための新たな法律を制定すること
- 1 農林漁業者が将来にわたって意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、経済のグローバル化に対応した農林水産業の強力な振興施策を講じること
- 1 農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図るとともに、田園回帰の時代を拓き、都市と農山漁村の共生社会を実現すること
- 1 地方分権改革を推進すること
- 1 急速に進行する少子高齢化や人口減少に対応した医療・保健・福祉・子育て支援施策を強力に推進するとともに、地域医療の確保・充実のため医師確保対策を推進すること
- 1 防災・減災・老朽化対策を強力に推進するとともに、道路、河川、生活環境等の積極的な整備促進を図ること
- 1 経済の活性化を図るため、地域資源を最大限活用した魅力ある産業の創出や労働力確保対策等、経済・雇用施策を強力に推進すること
- 1 陸路、海路、空路の交通網と魅力ある地域資源を活用した観光振興を推進し、交流人口拡大による地域経済の活性化を図ること

受賞おめでとうございませす

全国町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（在職四期以上退任）

三戸郡 五戸町長

三浦 正名

町村長（就任三期）

東津軽郡 平内町長

船橋 茂久

南津軽郡 藤崎町長

平田 博幸

青森県町村会表彰 自治功労者（敬称略）

町村長（在職十年以上）

東津軽郡 蓬田村長

久慈 修一

一般職の職員

（在職二十五年以上）

平内町 船橋寿、須藤鉄博、
門脇淳、小笠原淳子、本堂薫
外ヶ浜町 三浦芳恭、倉谷由
紀子、石田瞭、小倉貴仁、野
口康志、工藤良子
蓬田村 藤本正人



謝辞を述べる船橋平内町長

鱒ヶ沢町 松宮広枝、中井純
一、神和彦、奥口貴光、齊藤
正明、伊東直樹、長谷川朝洋
深浦町 岩谷博之、西崎良幸
西目屋村 竹内賢一郎
藤崎町 高木勝則、石澤岩博、
木村文徳、村上知広、阿部優
樹
大鰐町 中田恵美子、寺田恵
理子、須藤喜代子、吹田信子、
諏訪広美、太田靖子
田舎館村 相坂篤、鈴木貴、
工藤康人、須藤芳仁
板柳町 小笠原恵美子、坪田
直人、工藤正行、三上真大、
山田公人、外川精一
鶴田町 齋藤千帆、中村千晶、

工藤貴寛、宮本千世紀、山本
清太郎、中野正幸
中泊町 長尾信彦、松江正博、
戸澤文子、長谷川朱子、鈴木
統生、成田康隆、熊木徹、中
西誠、大西司、長内美加子
野辺地町 富吉卓弥、安村英
彦、飯田満、田中仁、川代真
希子
七戸町 町屋淳一、鳥谷部伸
一、工藤晶、大沢田亜希子、
町屋さおり、中村哲也
六戸町 田中愛子、田中夕起
子、佐々木頼行、高田明宏
横浜町 田中幸彦
東北町 松尾雅樹
おいらせ町 馬場太、佐々木
拓仁、松山公士、小谷地肇、
澤頭則光、吉田和孝、佐藤啓
二、小向正樹、柏崎純子、袴
田一仁、上野宏子

大間町 村川馨子、
山本竜太
風間浦村 能渡
春実、近藤裕一、
五十洲由紀子、木
村祐生、飯田義明
佐井村 畠中清孝、
鹿島鉄矢
三戸町 松澤俊彰、
奥山昇吾、櫻井学、
福田純子、小笠原
恵子、中野勝子
五戸町 志村要、
上山貴久、川村和
子、大森千津子、
行幸子
田子町 高岸徹、
三田浩、宮村規恵
子、大久保雅彦、
尾形重紀子、盛田佳実、大向
由岐子、松橋正子、川村美和
子
南部町 沼畑輝、殿村英子、
三浦桂、小村良伸、佐藤恭子、
工藤利雅、川門前淳哉、吉田
真澄、川村明子、鈴木るみ子、
館野直子、大下真紀子、原田
美穂、山本和子、澤田邦一
階上町 金見靖子、前田美幸、
平戸真澄
中部上北広域事業組合 寺澤
美保子、佐々木佳子、瀬川麻



左から三浦前五戸町長、船橋平内町長、平田藤崎町長、久慈蓬田村長、横浜町の田中氏

子、田中明子、吹越香織、市
ノ渡圭子、鎌本秋一、坪憲文、
萩野貴子、伊賀慎也、小嶋諭、
高西明洋、原子泰恒
北部上北広域事務組合 荒川
弘美、久保田秀雄、尾駮直人、
秋田谷寿彦、川原節子、二ツ
森ひとみ、駒ヶ嶺佐知子、金
枝亮子、山田尚子、秋田美紀
子、木明雅子、檜館恵美子
西海岸衛生処理組合 吉田慎
鱒ヶ沢地区消防事務組合 吉
田学

令和2年度事業計画 などを審議

令和2年第一回理事会・生協支部委員会



はじめ役員町村長十二人。理事会では、令和2年度事業計画などの議案四件並びに定期総会次第案などの協議事項三件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。事業計画及び予算案は二月二十六日開催の本会定期総会に提出することとした。

議案

- 議案第一号 令和2年度青森県町村会事業計画案
- 議案第二号 令和2年度青森県町村会会費案
- 議案第三号 令和2年度青森県町村会一般会計予算案
- 議案第四号 令和2年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計予算案

協議事項

- 協議事項一 令和2年第一回青森県町村会定期総会次第案並びに案件について
- 協議事項二 決議案について

本会は二月二十六日の定期総会に先立ち、一月二十八日、青森市のラ・プラス青い森で、令和二年第一回理事会を開催した。出席者は、浜谷会長を

- 協議事項三 令和2年度町村長行政調査研修(案)について
- その他(事務局説明事項)

・災害対策費用保険事業

・自治体のPHEV導入例

・令和元年度台風十五号及び

台風十九号被害に対する見舞

金

・地域人口の急減に対処する

市町村長会議提言事項を決定

第2回理事会

本会は三月二十五日、青森市の県共同ビルで令和二年第二回理事会を開催した。出席者は、浜谷会長をはじめ役員町村長十一人。理事会では、令和2年度市町村長会議(町村の部)における提言事項について協議し、原案どおり決定した。

協議事項

- 協議事項一 令和2年度市町村長会議(町村の部)について
- 13 次回の十三項目を同会議において提言することを決定した。

ための特定地域づくり事業の推進に関する法律概要

第一回生協支部委員会

理事会終了後、引き続き、全国町村職員生活協同組合県支部は委員会を開催し、議案一件を原案どおり承認、決定し、本会定期総会に報告する

こととした。

議案

- 議案第一号 令和2年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案Ⅱ収入支出それぞれ三千四百六十二万三千円(対前年度比五十八万五千円一・七%減)とする。

ついて

- 11 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について
- 12 少人数教育の推進について

- 13 新型コロナウイルス感染症対策について(新規)

- 1 地方創生の推進について
- 2 町村財政基盤の充実強化について
- 3 新たな過疎対策法の制定について(新規)
- 4 電子行政の推進について
- 5 海岸漂着物等の対策について
- 6 医療・保健・福祉・子育て支援施策の推進について
- 7 雇用施策の推進について
- 8 農林水産業の振興について
- 9 社会基盤の整備促進等について
- 10 観光客誘客対策の強化に



市町村長会議の提言事項を協議

大島衆議院議長を表敬訪問

本会は、二月十二日、衆議院議長公邸で大島理森衆議院議長への表敬訪問を行った。出席者は浜谷会長をはじめ、二十九町村長。

衆議院議長公邸では、公邸

内見学のほか、滝沢求参議院議員も同席し、総務省職員からの施策説明の後、町村長がそれぞれ町村の現状を説明するなど、大島議長と意見交換を行った。



道路除排雪経費の 財政支援等を要望

県・市長会と合同で総務省・国土交通省に



総務省の黒田事務次官に要望

令和元年度道路除排雪経費に対する 特別交付税の配分に関する要望

本県は、全域が豪雪地帯であり、例年、厳冬期である2月に降雪のピークを迎えます。また、ピークが過ぎた後も、除雪により、大量の雪が路側等に堆積し、道路交通障害等、住民生活に大きな支障を来しております。

このような状況に対応するため、本県町村は、住民生活の安全・安心の確保、及び地域経済活動を図ることから、通勤・通学路などの生活道路の除排雪等に全力を挙げて取り組んでおります。

そのような中、本格的な降雪期を迎え、今後の道路除排雪による多額の財政支出が見込まれます。

つきましては、本県町村の現状及び厳しい財政状況をご賢察のうえ、令和元年度の道路除排雪経費に対する特別交付税の配分について、特段の御配慮をお願いします。

本会は二月十二日、東京都内で、県、県市長会との合同により、道路除排雪経費に対する特別交付税の配分に関して総務省へ、財政支援に関して国土交通省へ要望した。

これは、町村の除排雪作業にかかる費用が増大していることを受け、国の財政支援を求め実施したもの。

要望には三村知事のほか、市長会から小野寺会長、本会から浜谷会長が参加した。当日は、総務省では黒田事務次官、内藤自治財政局長、谷大臣官房審議官、大沢自治財政局財政課長に、国土交通省では由木国土交通審議官、長橋道路局次長に面談のうえ、要望活動を行ったほか、県選出国會議員には、道路除排雪関連経費の財政支援について要望書を提出した。

町村長選挙結果

六戸町長 **吉田 豊** 氏
よしだ ゆたか



任期満了に伴う六戸町長選挙は、一月十九日、投票が行われ、現職の吉田豊氏(70)が八選を果たしました。
 (略歴) 町議会議長

町村の魅力発信事業助成事業を是非活用ください

「町村の魅力発信事業助成事業」は、令和2年度もこれまでと同様の趣旨で実施しますので、積極的な活用をお願いします。

主な助成内容

- 1 助成金額…令和2年4月1日から令和3年2月28日までに実施する事業に対し、1町村当たり200万円を限度に実費助成
 - 2 助成対象経費
 謝金、旅費、印刷製本費・複写費、賃借料、通信運搬費、共同事業に関する負担金、その他事業を行う上で本会会長が必要と認める経費
 - 3 助成対象事業例
 - ・イベント等開催に係る観光振興等に係る事業
 - ・地域活性化に貢献できる人材育成・確保事業
 - ・産業振興上必要な事業
 - ・地域資源の発掘、活用による商品開発、需要拡大事業
 - ・地域のイメージアップ・環境整備につながる施設整備事業
- 令和2年5月29日(金)までに、別に定める事業計画申請書を本会へ提出願います。

問合せ先

町村の魅力発信事業助成事業に関しては、本会業務共済課(電話:017-723-1331)までお問い合わせ願います。

青森県町村長等名簿

令和2年4月1日現在
 町村数30町村(22町8村)

町村	区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24.7.17	3	R5.11.14	山田光昭
	今別町	中嶋久彰	S30.7.18	1	R3.10.12	
	外ヶ浜町	山崎結子	S56.6.21	1	R3.4.23	
	蓬田村	久慈修一	S25.8.1	2	R3.11.8	工藤洋一
西郡	鱒ヶ沢町	平田衛	S34.11.1	1	R3.12.26	加藤隆之
	深浦町	吉田満	S28.9.9	3	R2.12.20	菊池雄司
中郡	西目屋村	関和典	S42.2.24	4	R4.2.25	
南郡	藤崎町	平田博幸	S32.6.2	3	R5.11.19	五十嵐晋
	大鰐町	山田年伸	S27.3.11	3	R4.7.21	
	田舎館村	鈴木孝雄	S12.2.10	4	R2.11.17	葛西幸男
北郡	板柳町	成田誠	S28.3.4	2	R5.4.29	村上孝夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	2	R4.8.20	成田正利
	中泊町	濱館豊光	S34.10.3	1	R3.4.23	横野彰吾
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38.4.15	1	R5.10.26	江刺家和夫
	七戸町	小又勉	S24.1.2	4	R3.4.23	高坂信一
	六戸町	吉田豊	S25.3.28	8	R6.1.27	
	横浜町	野坂充	S26.1.31	4	R2.12.11	新渡喜広
	東北町	蛭名敏治	S34.9.23	1	R3.4.23	向井正弘
	おいらせ町	成田隆	S26.2.4	2	R4.3.25	小向仁生
	六ヶ所村	戸田衛	S22.1.28	2	R4.7.6	橋本晋
下北郡	大間町	金澤満春	S25.3.9	4	R3.1.18	菊池武利
	東通村	越善靖夫	S17.1.7	6	R3.4.12	林春美
	風間浦村	富岡宏	S37.4.27	1	R3.2.18	
	佐井村	樋口秀視	S26.4.10	2	R4.4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	松尾和彦	S38.5.9	1	R2.12.15	馬場浩治
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	1	R5.6.26	大久保均
	田子町	山本晴美	S39.4.10	3	R6.1.14	原昌徳
	南部町	工藤祐直	S30.5.22	6	R4.2.11	佐々木俊昭
	階上町	浜谷豊美	S31.8.23	4	R3.12.23	沼沢範雄
新郷村	櫻井雅洋	S27.5.25	1	R3.5.28		

令和2年度 予算など決定 総合事務組合議会定例会

県市町村総合事務組合は二月二十六日、青森市の青森国際ホテルで令和二年第一回議会定例会を開催した。出席者は浜谷管理者をはじめ、議員等十市町村長。

はじめに、議員の任期満了に伴い、議長に相川鶴田町長、副議長に富岡風間浦村長をそれぞれ選任した。引き続き、浜谷管理者が令和二年度予算など三件の議案と二件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり議決、同意並びに承認した。

議案・報告は次のとおり。

議案
○議案第一号 令和二年度組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ八億六千八百七十二万六千円とする。
○議案第二号 令和二年度組合市町村税等滞納整理特別会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総

額は、歳入歳出それぞれ七千四百八十八万九千円とする。

○議案第三号 監査委員の選任について同意を求めるの件
Ⅱ議員のうちから選任した監査委員の任期が令和元年十一月三十日で満了となったことから、新たに山田大鰐町長を選任した。

○報告第一号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（青森県市町村職員退職手当組合規約の一部を改正する規約（専決第二号））

○報告第二号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（青森県市町村総合事務組合職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例（専決第一号））



令和2年度予算などを審議

令和2年度町村会関係主な行事予定

会議等の名称	日時	場所
正副会長・理事・監事・政務調査委員長・顧問合同会議	5月21日（木） 13時	町村会役員室
県広報広聴協議会 理事会	5月21日（木） 14時	町村会会議室
全国山村過疎地域振興連盟県支部 理事会	5月21日（木） 14時15分	町村会役員室
発電関係市町村全国協議会県支部 総会	5月21日（木） 14時45分	町村会会議室
総務厚生委員会・産業経済委員会	5月28日（木） 10時30分	未定
市町村長会議（町村の部）	5月28日（木） 15時	青森市・ラ・プラス青い森
令和3年度重点施策提案に係る国会議員説明会	5月31日（日） 13時	青森市・青森国際ホテル
監査会	7月中旬予定	町村会役員室
理事会	8月上旬予定	町村会役員室
町村長健康管理研修	8月25日（火）～27日（木） 1日目 定期総会 15時 2日目 健康管理研修	大鰐町
	3日目 半日ドック	青森市 あおもり人間ドックセンター
理事会	10月予定	町村会役員室
法令外負担金等委員会	10月予定	町村会役員室
県選出国議員との懇談会	11月25日（水） 17時	東京都・ホテルニューオータニ
全国町村長大会	11月26日（木） 正午	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央研修会 （秋田県・岩手県町村会との合同開催）	11月26日（木） 15時	東京都・ホテルニューオータニ
北東北三県町村長中央交流会 （秋田県・岩手県町村会との合同開催）	11月26日（木） 17時	東京都・ホテルニューオータニ

町村職員採用試験

令和元年度実施状況と
令和二年度実施について

令和元年度実施状況

町村等職員（一部事務組合等含む）の任用事務の公平・効率化を図るため、本会が町村等の要請に基づき実施する町村職員採用試験の令和元年度実施状況は下表のとおり。実施日は、日本人事試験研究センターが定めた全国統一試験の七月二十八日（日）と九月二十二日（日）二回。また、その他の期日に個別試験を実施した。

令和二年度実施申込受付中

令和二年度に町村職員採用試験の実施を申込みする団体は、本会指定の期日までに、所定の様式にて本会へお知らせ願います。実施申込みや試験実施科目など、ご不明な点は本会業務共済課【電話017（723）1331】にお問い合わせ願います。

「令和」二年度町村職員採用統一試験の概要

試験期日・職種

- 試験期日・職種
- ・第一回（大学卒業程度）
令和二年七月十二日（日）
- ・第二回（短大・高校卒業程度）
令和二年九月二十日（日）

○場所

第一、二回とも青森市内

○実施申込方法

各団体に既にご案内している「令和二年度町村職員採用試験実施申込書」を、四月十五日（水）までに本会へ送付願います。

○その他留意事項等

- ・受験者数の報告
- ・第一回（大学卒業程度）は六月四日（木）、第二回（短大・高校卒業程度）は八月三日（月）までに、受験者名簿を本会へ提出願います。
- ・公募方法

受験者公募の手続きは各団体が行うこととし、右記の名簿提出期日に間に合うよう公募をお願いします。受験票は各団体が作成し、試験当日に受験者が必ず持参するよう周知徹底を図ってください。

・試験当日の実施運営

例年、本会職員と試験実施

団体担当者が連携し対応しておりますので、ご協力願います。

・担当者事前説明会

試験係員となる試験実施団体担当者を対象とした事前説明会を六月下旬に予定しています。

ます。試験実施申込みのあった団体に後日ご案内します。

・個別試験

試験問題の作成及び採点に係る経費は、団体申込みの科目金を申込人数に応じて負担いただきます。

別試験の実施は、本会は問題用紙等の提供・採点のみ行います。実施団体は、試験日の一カ月前までに本会にご連絡ください。

令和元年度町村職員採用統一試験受験申込者数（統一・個別合算）

（単位：人）

団体名	職 種												合計	
	上 級			中 級					初 級			社会人		
	行政	土木	保健師	一般	社会福祉	保健師	栄養士	看護師	一般	一般(身障)	消防			土木
平内町	10		3	6					6	1	7			33
今別町													6	6
外ヶ浜町							2		11		6			19
蓬田村	1								2					3
鯉ヶ沢町				8			2		12					22
深浦町				3					4					7
西目屋村	5													5
藤崎町	30						5		7					42
大田舎館村	22		2						7			2		33
板柳町	10				2		3		2	3	2			22
鶴田町	18						1		8			1		28
中泊町													20	20
野辺地町	5								7					12
七戸町	7	4		1					8					20
六戸町	8						3			1				12
横浜町									1			3		1
東北町	4								3	3				10
おいらせ町	14		11		4				14					43
六ヶ所村	8								10					18
大間町						1	3		12					16
東通村									3				2	5
風間浦村	2												3	5
佐井村	4													4
三戸町														0
五戸町	9						5		8				12	34
田子町	2								1				1	4
南部町	8								4					12
階上町									13					13
新郷村														0
中部上北広域事業組合									5		8			13
上北地方教育・福祉事務組合									6					6
鯉ヶ沢地区消防事務組合											8			8
北部上北広域事務組合											16			16
	167	4	16	18	6	22	3	2	155	7	45	1	50	496

特選 弘前市「広報ひろさき」



一枚写真の部 入選 鱒ヶ沢町「広報あじがさわ」



令和2年県広報コンクール 広報紙総合の部

「広報ひろさき」が特選

本会に事務局を置く県広報広聴協議会は、二月四日、青森市の県共同ビルで令和二年県広報コンクール審査会を開催した。

同コンクールは市町村の広報活動の向上を目的に開催しているもので、県内市町村から広報紙二十一点、写真四十三点、映像一点の応募があった。

六名の審査委員による厳正な審査の結果、広報紙総合の部で弘前市の「広報ひろさき」(平成31年1月1日号)が特選、むつ市の「広報むつ」(令和元年11月号)が準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報協会主催の全国広報コンクールに県代表として推薦する。

令和2年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門（総合の部）

特選	弘前市	「広報ひろさき」	1月1日号※
準特選	むつ市	「広報むつ」	11月号※

広報紙部門（市部）

入選	つがる市	「広報つがる」	8月号
佳作	三沢市	「広報みさわ」	3月号
奨励賞	十和田市	「広報とわだ」	11月号
奨励賞	平川市	「広報ひらかわ」	9月号

広報紙部門（町村部）

入選	板柳町	「広報いたやなぎ」	11月号
佳作	東北町	「広報とうほく」	10月号
奨励賞	田舎館村	「広報いなかだて」	9月号
奨励賞	三戸町	「広報さんのへ」	8月号

広報写真部門（一枚写真の部）

入選	鱒ヶ沢町	「広報あじがさわ」	11月号※
佳作	新郷村	「広報しんごう」	3月号
奨励賞	つがる市	「広報つがる」	6月号
奨励賞	平内町	「広報ひらない」	3月号
奨励賞	階上町	「広報はしかみ」	3月号

広報写真部門（組み写真の部）

入選	深浦町	「広報ふかうら」	12月号※
佳作	田舎館村	「広報いなかだて」	3月号
奨励賞	弘前市	「広報ひろさき」	9月1日号
奨励賞	東北町	「広報とうほく」	6月号
奨励賞	新郷村	「広報しんごう」	3月号

映像部門

入選	三戸町	「三戸町のあゆみ ～ my home town ～」※
----	-----	-----------------------------

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品

第四回過疎対策 研究会を開催

県過疎対策研究会

県と全国山村過疎地域振興連盟青森県支部は二月二十日、第四回青森県過疎対策研究会を県庁で開催した。

今回は、研究会の報告書案について事務局から説明があり、委員からは「地域文化の振興等について、自然環境の保全をより前面に押し出すべきではないか」「今後の過疎対策について、県内・県外の具体的な事例や写真を掲載してはどうか」などの意見が出された。

また、これまでの研究会全体を通して、「今後の過疎対策として、一自治体だけでなく団体同士で広域的に協力していく必要がある」「過疎対策事業の実績や効果を検証し、行っていかなければならないと感じている。良い事業については県外にPRしていく必要もある」などの意見が委員から出された。

報告書を公表

県過疎対策研究会では令和

元年七月に設置されて以来、四回にわたって本県過疎地域の現状や課題を議論し、本県の実情に即した新たな過疎対策について研究を行ってきたところであり、今般、報告書として取りまとめ、公表した。報告書は、「本県過疎地域の現状と課題」「今後の過疎対

策について」などで構成している。「今後の過疎対策について」では国に期待される支援のイメージとして、過疎対策事業債の総額増及び社会インフラや公共施設等の除却の追加、中間支援組織の立ち上げに係る経費及び活動経費の補助などを盛り込んだ。

保健師・看護師採用、厳しい現状 町村職員（資格免許職）の採用状況に関するアンケート結果

本会は県内三十町村を対象に、過去三年における資格免許職職員の採用状況について、令和二年一月～二月にかけてアンケート調査を実施いたしましたので、アンケート結果の概要についてお知らせします。

は九町村が回答し、延べ九十一人の採用予定に對し、最終的な採用人数は約三分の二である六十二人にどどまった。
・その他の職種では、薬剤師や臨床検査技師等が採用予定数に満たないという回答があった。

1 資格免許職の採用予定人数、応募者数及び最終的な採用人数

・保健師の採用人数については二十三町村が回答し、延べ五十一人の採用予定に對し、最終的な採用人数は約三分の二である三十三人とどどまった。
・看護師の採用人数について

2 職種ごとの最近二～三年の採用状況について

・保健師については、二十三町村のうち八町村が「採用予定数に満たない」「採用予定数に満たない状況が続いており、極めて深刻」または「応募者が全くない」と回答。

3 その他意見（自由回答）

・試験をしてもなかなか人数が集まらず、採用の内定をしても他自治体と重複して受験していることも多いため、内定後に断られるケースが多く、安定的に人材を確保できない。
・学生のうちに保健師への魅力を感じてもらうことも大事だと感じている。

図 資格免許職の採用状況（H29～R元 累計）

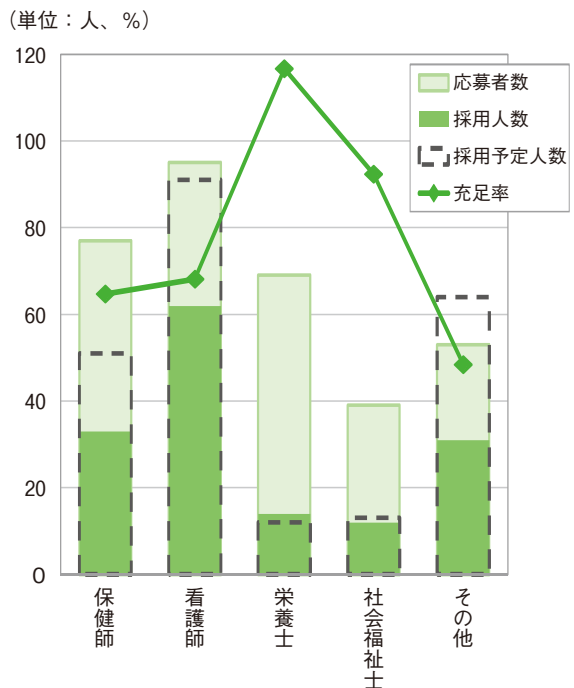


表 最近2～3年の採用状況について

	保健師	看護師	栄養士	社会福祉士
採用試験を実施しており、採用予定人数は充分確保できている	15	5	7	8
採用試験を実施しているが、採用人数は採用予定数に満たない	4	1	0	0
採用人数が採用予定数に満たない状況が続いており、極めて深刻	1	1	0	0
応募者が無く、試験が実施できない状況	3	1	0	0



運動しながら観光できる！

フォトログейニングで賑わい創出

青森県南に位置する五戸町では平成三十年からフォトログейニングを開催しています。町内の名所や旧跡、店舗などを巡るスポーツイベントの実施で、商工物産振興、賑わい創出などの効果を期待しています。

フォトログейニングとは

フォトログейニングとは、地図をもとに時間内にチェックポイントを回りチェックポイントで見本と同じ写真を撮影することで点数を獲得し、その合計点の多さを競うウォークラリーのようなスポーツイベントです。スタート地点より遠いところほど点数が高くなるため、三時間の制限時間内に遠くを目指すか、近場を多く回るかを考える必要があります、頭と体を程よく使う競技となっています。

近年全国的に少しずつ広がりを見せており、平成三十年十月に青森県南地方では初の開催となりました（県内最初の開催は平成二十九年の大鰐町で、五戸町は県内二番目）。競技は自分の足で歩き、設定されたチェックポイントで見本の写真と同じ風景に参加者自らが映り込んだ写真を撮る必要があるため、町歩きのような観光効果と、競技中の飲食や買い物は自由であることから商工物産振興も期待できます。また、競技の参加者として町内外から人が集まるため、賑わい創出にもつながります。何よりスポーツイベントという側面を持ちながら、実際には上位入賞を狙う本格的なランナーから小さな子供を連れて家族で回るチームまで幅広い層が参加しているため、様々な人に町の総合的な魅力を発信する機会にもなります。

始めるに至った経緯

五戸町商工会は五戸町と新郷村の二つの行政区分にまたがる商工会であり、その青年部も同様に両町村の地域振興に関する事業を毎年様々行っています。地域の清掃奉仕活動やイベントでの出店がほとんどであり、部員間ではこれら以外の新規事業を考えていました。また、青年部員には

第2回大会には町内外から79名が参加



年齢上限があり四十五歳になると部員を卒業することから、将来的に部員が減少し少ない人数でも継続して運営できるような事業を考える必要がありました。その中で部員から「フォトロゲイニングを青年部として五戸町でやりたい」という声があがりました。フォトロゲイニングはスポーツイベントであること、まだあまりメジャーではなく新規性があること、運営するため的人数も競技前後にはある程度必要だが競技中は少なく



出発前に作戦を練る参加者

町内での産業まつりの日に合わせて開催したことや近隣町村でイベントが開催されていたこともあり参加者数は減少しましたが、二回とも参加したリピーターも見受けられました。参加者は町内の参加者が約三割で八戸市から近隣市町村からの参加者も多く遠くは弘前市からも参加していました。競技範囲はスター

済むこと、町の観光、物産、商工振興につながる可能性があること等の条件が揃ったため、青年部として大会を開催することとなりました。

開催した結果

第一回大会は平成三十年十月二十八日に開催。宣伝の効果もあり四十一チーム、百十七名が参加し、第二回大会は平成三十一年十月五日の開催で二十六チーム、七十九名の参加となりました。第二回は

ト地点から約半径五キロメートルですが、町内の様々な道を通ってチェックポイントを経由しながら、有名な店や見どころから何でもないような道端の看板等まで多彩な五戸町の顔を見てもらえるようにチェックポイントを設定しました。

また、町の物産を知ってもらうため入賞賞品には町の三大肉であるあおもり倉石牛、青森シヤモロツク、馬肉のほか、蔵元のある日本酒の菊駒と如空、町特産の紅玉りんごやアピオス、こうせんを原料に使用したお菓子や、かつ

け、なんばんみそなどの特産品を用意したほか、参加賞は倉石地区のリングジュースと町内の温泉の入浴券とし、上位入賞者だけでなく参加者全員に町の魅力を発信しました。さらに、第二回大会では競技中に町内の飲食店で飲食したチームに加点をする特別ルールを設けて参加者に町内の店を利用しやすいよう配慮したことで、実際に飲食をしたチームが多かったことや、競技終了後に飲食店や温泉を利用するきっかけを提供する



チェックポイントの天満宮で写真撮影

ことで商工振興にも寄与しています。

今後の課題と展望

しかしながら、フォトロゲイニング自体の知名度がまだまだ低いことから、競技の知名度向上と町内外に対する町の魅力を発信をしていくことが今後の課題となっております。宣伝方法についても二回の大会を経てチラシ配布や新聞折り込み、ラジオ、SNSの利用等を試みましたが、より効果的な方法を模索中です。今後は、フォトロゲイニングのように、新たな形での地

域振興に向けた事業を商工会青年部として試み、同時に既存の事業も継続してまちづくりの一端を担っていくことを目標としています。またフォトロゲイニングという競技を通じて、町内外へ強力にアプローチをしていくことも目標の一つです。町外の参加者には五戸町を訪れてもらいたい町のことを知ってもらったうえで、また来てもらえるような魅力を伝えること、町内の参加者には普段自分たちが暮らしている町でも自分から行くことが無い場所、いつもは通り過ぎて気に留めないようなところに目を向けて町の別な顔を発見したり自分たちの町の地理、風土、景観、特産品等の魅力を知り愛着を深める一因となることを目指します。※五戸町フォトロゲイニング大会に関するお問い合わせは五戸町商工会青年部【0178(62)3151】までお願いします。



問い合わせ先 今別町観光協会
TEL 0174-35-2014

公園いっぱいに広がる桜に囲まれてお花見・賑やかなお祭りを楽しめます。高級和牛「いまべつ牛」をはじめとした町の特産品を存分に味わえる出店や、荒々しく舞い踊る町の伝統芸能「荒馬」、その他多数のおもてなしを用意し、皆様に今別町の魅力をお届けいたします。

見て、聞いて、食べて楽しめる海峡いまべつ春まつりにぜひお越しください。

※今年の春まつりは中止となりました。

町の魅力盛りだくさん！
海峡いまべつ春まつり

いまが旬!
いまべつまち
今別町

東津軽郡



問い合わせ先 鯉ヶ沢町教育委員会 社会教育課
TEL 0173-72-2111 (内線433)

平成2年6月にオープンした「光信公の館」は、今年開館30周年を迎えます。

光信公の館では開館30周年を記念した特別展を開催するとともに、昨年好評だった「御城印」の販売、8月には入部530周年を記念した「御城印帳」の発売も予定しています。

○開館期間：5月1日(金)～10月31日(土)

※金・土・日曜のみ開館

5月1日～10日は

休まず営業します。

○営業時間：5月～8月 9：00～17：00

9月～10月 9：00～16：30

○入館料：一般300円／高校生220円／

小中学生150円／幼児 無料

※5月1日は学芸員による解説会を行います。

光信公の館開館30周年！

いまが旬!
あしがさわまち
鯉ヶ沢町

西津軽郡



©松竹株式会社

問い合わせ先 田舎館村役場企画観光課
TEL 0172-58-2111

第2田んぼアートがある道の駅いなかだて「弥生の里」では、田んぼアート期間に先駆けて、GW期間に石アートを期間限定公開します。石ならではの自然な配色で描くアートをぜひお楽しみください。

○日時：4月25日(土)～

5月6日(水・祝)

9：00～17：00

(最終入館16：30)

○場所：田舎館村高樋字八幡10

(弥生の里展望所)

石アート 男はつらいよ
「車寅次郎」

いまが旬!
いなかだてむら
田舎館村

南津軽郡



問い合わせ先 道の駅よこはま「菜の花プラザ」
TEL 0175-78-6687

横浜町の養豚業者である飯田養豚場が酒粕をエサに加えて飼育する「ほろよい豚」はきめの細かいしっとりとした肉質と、甘みのある脂身が特徴の豚肉です。

そんな上質なお肉を使った「ほろよい豚のとんかつ」を道の駅よこはま 菜の花プラザ内にあるレストラン鮮菜にて提供しております。

菜の花プラザではそのほかにも菜の花ドーナツや菜花ソフト、はちみつも人気。お近くへお越しの際には、道の駅よこはま「菜の花プラザ」へぜひお立ち寄りご賞味ください。

「ほろよい豚」のとんかつ
を味わってみませんか?

いまが旬!
よこはままち
横浜町

上北郡

いまが旬!

東通村

ひがしどおりむら

下北郡

運が良ければ出産に立ち会う
ことも! 尻屋崎へ行くぞう!

厳冬に耐える姿が有名な寒立馬^{かんだちめ}ですが、春の日差しも麗らかな頃、新しい命の誕生シーズンを迎えます(4月下旬~)。

この時期、放牧地の尻屋崎は青い空と海、緑の牧草地が広がり、美しい白亜の尻屋崎灯台を背景に、たくましい母馬や初々しい仔馬を見ることができます。

ぜひ、尻屋崎へお越しください。



問い合わせ先 東通村役場
つくり育てる農林水産課 農林振興グループ
TEL 0175-27-2111

いまが旬!

南部町

なんぶちょう

三戸郡

名川チェリリン村

4月18日から名川チェリリン村が2020年の営業を開始します。また、初心者でもアウトドアが楽しめるよう、キャンプ用品のレンタルサービスをスタートします。(要申込)敷地内にはツリーハウスやケビンハウスがあるのでテント泊が心配な方にはこちらをおすすめします。

今年は名川チェリリン村でアウトドアチャレンジはいかがですか。



問い合わせ先 名川チェリリン村総合案内所
TEL 0178-76-2471

いまが旬!

階上町

はしかみちょう

三戸郡

魚介の宝庫 「はしかみハ
マの駅あるでい〜ば」

平成30年にオープンした「はしかみハマの駅あるでい〜ば」。階上の近海でとれた魚介類が豊富に並び、多くの来場者でにぎわいます。

また、レストランでは太平洋を一望しながら旬の魚介を使った料理を味わえるほか、軽食コーナーではソフトクリームやふのり入りドーナツなども販売しています。

皆さまのご来場お待ちしております。



問い合わせ先 はしかみハマの駅あるでい〜ば
TEL 0178-38-3166

●お知らせとお願い

「あおり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、区市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬!」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話・出来事などが満載!

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

■ 共済契約できる自動車

1. あなたの所有する
2. あなたと同一世帯に属する親族（同居の親族）の所有する

- 自家用普通・小型乗用自動車
- 自家用軽四輪自動車
- 自動二輪車 ● 原動機付自転車

■ 共済掛金と共済金額

組合員のニーズに合った選択ができるよう、共済金額はA型とB型の2類型です。

共済金額	用途及び車種 区分	共済掛金額（年間）			
		自家用普通・小型乗用 小型貨物車(660cc超)	自家用軽四輪乗用 貨物車(660cc以下)	自動二輪車 (125cc超)	原動機付自転車 (125cc以下)
A 型	対人賠償 無制限	30,000円	19,000円	17,000円	12,000円
	対物賠償 1,000万円				
	自損事故傷害 1,500万円				
	限定搭乗者傷害 500万円				
B 型	対人賠償 無制限	33,000円	21,000円	20,000円	14,000円
	対物賠償 無制限				
	自損事故傷害 1,500万円				
	限定搭乗者傷害 1,000万円				

※無共済等自動車傷害共済・他者運転特約も自動付帯。 ※自賠責保険と共済金の一括払も実施しています。

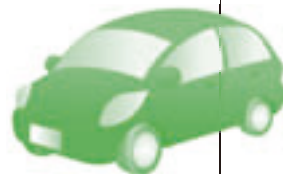
町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

町村生協の自動車共済にご加入の方のみ、車両共済（保険）に加入できます。
お見積りは無料です。いまずぐお見積もりをご請求ください。
新規のご契約をいただいた方には粗品をプレゼントします。

- 町村生協の自動車共済加入のマイカーが過去3年間以上無事故で、
今回新たに車両共済（保険）に加入する場合、
9等級(43%割引)・事故有期間0年からスタート！
- 一括払いでご契約の場合は、さらに **5%割引！**
- 他社からの切替の場合、等級の引き継ぎができます。
- 保険料分割払（12回）が選択可能です。ロードサービスも自動付帯！

いつでもご加入いただけますので下記までお問い合わせ願います。

問合せ先 全国町村職員生活協同組合青森県支部
青森県町村会業務共済課 [共済事業] TEL 017 (723) 1331



掛金が一律！等級制度がありません！

自動車共済

青森県町村会等事務分担

(令和2年4月1日現在)

青森県町村会

常務理事兼
事務局長

原田 啓一

課・職名・氏名

主要担当業務

課・職名・氏名	主要担当業務
総務課 参事・総務課長事務取扱 吉本 知己 総括副参事 原子美香子 総括主幹 上原俊一郎 臨時事務手 阿部りる子 臨時事務手 福士 佳子	人事、規約・諸規程の改廃、 予算、関係諸団体等との連絡 調整、各業務の調整、総会そ の他の諸会議、総務厚生委員 会、顧問弁護士、表彰、軽自 動車税申告台数調べ、文書の 收受・発送、各団体の予算経 理、現金・有価証券の出納・ 保管、決算、物品の出納・保 管、他の所管に属しないこと
業務共済課 総括主幹 大坂 謙 主幹専門員 澤田 博美 主事 嶋田 裕哉 主事 佐藤 溪 主事 前田 啓貴 主事 宮越 彩香 臨時事務手 松田 清子 臨時事務手 畑井ゆかり	(業務関係) 事業計画、町村行財政の調査、 産業経済委員会、エネルギー 政策特別委員会、法令外負担 金の規制、要望・請願、町村 長等・市町村職員研修会、 会報「あおもり町村自治」、町 村職員採用試験、町村の振興 発展に関する調査・研究、県 広報広聴協議会、全国山村過 疎地域振興連盟県支部、発電 関係市町村全国協議会県支部 (共済関係) 公有建物・自動車共済、職員

小さな掛金で大きな安心

火災共済

確かな安心を！いつでも申し込み可能

■共済契約できる物件

- あなたの所有する居住用建物およびその建物内にある動産
- あなたと同一世帯に属する親族が所有し、かつ、あなたが現に居住する建物およびその建物内にある動産

■共済掛金と共済金額

共済掛金（年額）は共済契約1口（10万円）につき60円です。
 契約額の最高限度は、600口（建物400口、動産200口）で、6,000万円（風水雪害は450万円）を限度に補償します。

共済契約の最高限度額			
区分	口数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

風水雪害特約制度

- ◎火災共済契約に任意で付加することができる特約制度です。風水雪害による損害に共済金を支払います。
- ◎この特約を付加することで、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して、損害額の50%または火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に、風水雪害特約共済金が支払われます。（ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。）
- ◎特約共済掛金は、一口（10万円）につき50円です。（火災共済契約の契約口数と同口数を付加していただきます。）



青森県市町村総合事務組合

事務局長 原田 啓一

課・職名・氏名	課 務 課	主要担当業務
総務課長	会計管理者 参事・総務課長 事務取扱	消防団員等公務災害補償等に関する事務、非常勤職員公務災害補償等に関する事務、自治会館の管理・運営に関する事務
総括副参事	吉本 知己	
総括主幹	原子美香子	
市町村税滞納整理機構 滞納整理課長	上原俊一郎	市町村税等の滞納整理に関する事務
機 構 長	檜山 和宏	
副 参 事	伊藤 義章	
主幹専門員	平野 法泉	
主幹専門員	高橋 淳一	
主幹専門員	金枝 秀樹	
主 査	関 俊輔	
主 査	吉田 宇藍	
主 査	柿崎 辰圭	
主 査	水口 文人	
専 門 員	藤田 昭	
専 門 員	福井 宏	
専 門 員	横山 麻美	

火災・自動車共済、特定疾病保険、任意共済保険、団体定期保険、総合賠償補償保険、個人年金共済、災害対策費用保険、収入補償保険、消防設備資金
--

新郷村長

さくら い
櫻井

まさ ひろ
雅洋

プロフィール

村会計管理者兼出納室長。
現在1期目、68歳。



随 想

第45話

神秘の里への誘い

いざな

「新郷村」と聞いたとき、あなたはどんなイメージを思い浮かべるでしょう。随想を述べるにあたり、村が「神秘の村」と言われる所以と今後の展望を少し紹介したいと思います。



キリストの墓(手前)と弟イスキリの墓

村の「代名詞」とも言える「キリスト伝説」のはじまりは、昭和十年までさかのぼります。茨城県磯原町にある皇祖皇大神宮で発見された古文書をもとに、竹内巨磨氏が数名の古代史研究家と当時の戸来村を訪れ、小高い竹やぶにある土饅頭の一つをキリストの墓「十来塚」、もう一つを弟イスキリの墓「十代墓」であると断ったことがきっかけでした。何もないところから突然湧いて出たことから「キリスト湧説」とも言ったほう

が良いのかもしれませんが、古来、村には、子どもが生まれ初めて外に出すとき額に墨で十字を切ることや、父親をアヤまたはダダと呼ぶことなど、キリストに所縁のあるような風習や習慣が多く残されています。また「戸来村の語源はヘブライが訛ったもの」「ナニヤドヤラの盆歌はヘブライ語でキリストを称える歌詞の訛ったもの」「子孫と言われている沢口家の先祖に、目が青く、西洋人の容姿を持つ者がいた」など、この地とキリスト伝説を結ぶ数々のエピソードとともに、多くのメディアで取りあげられ世間に知られるようになりました。

湧説の誕生から八十年以上たった今でも、この伝説は神秘・ロマンとして言い伝えられ今日に至っています。沢口



キリストの里伝承館

家の先祖により、高貴な人の墓である」と言い伝えられてきた二つの土饅頭は、キリストの墓として祀られ、その霊を慰めるキリスト祭は五十六回の歴史があります。例年、多くの外国人がこの祭りを目当てに来村するのも特徴の一つで、平成十六年には、イスラエル大使館から友好の証として墓前に顕彰碑が寄贈されるなど、今となっては村の文化や伝統の一部ともなっています。



昭和期の戸来地区金ヶ沢通りの様子

新郷村の歴史はこの伝説より新しく、昭和三十年七月に戸来村と野沢村が合併したことで、人口約六千六百人の村として歩みをはじめました。明治二十二年に、冷害を克服するため酪農を取り入れ酪農組合を組織し製酪事業を開始。これが本県酪農の誕生となり、現在は「青森県酪農発祥の地」として知られています。搾乳の近代化とともに農家数が減少し、主力は葉たばこ・ニン

ニク・長芋生産へ移行。さらに迷ヶ平で生産されたキャベツが高原野菜として出荷されるようになり、村の基幹産業が確立されました。

現在は、農林畜産業の振興を第一に、各種支援や補助を実施し良質農産物生産、農産物販路拡大を目指しながら農家の所得向上を図っております。また、元氣な長寿の村として高齢者の生きがいの場を創出する福祉事業の推進や、心豊かな子どもへの育成に努め教育振興を進めています。観光振興は、村内の観光資源を全国へ情報発信し誘客を促し、特産品のブランド化を積極的に進めています。事業を進めてきた風力発電所も、令和元年十一月に完成し運転を開始しており、財源の増収や観光名所となるよう期待を寄せています。

結びに、今回紹介したキリスト伝説をはじめとする伝説の数々を、信じる・信じないは、ぜひ村に足を運び現地立ち、文献や資料館で学び、個々の価値観から思いをめぐらせていただきたいと思えます。そして、新郷村の神秘・ロマン、村の風土や文化ここに暮らす人のあたたかさなどを心豊かに感じ取っていただければ幸いです。みずばしよの美しい季節、皆さまのご来訪を心よりお待ちしております。